

2026年3月3日
マクセル株式会社

マクセル、国内大手 VC「ジャフコ」が運用する新規ファンド(V8)への出資を決定 外部の先端技術を活用し、小型電池領域の革新的技術の獲得、新製品・新事業創出を加速

マクセル株式会社(取締役社長:中村 啓次/以下、マクセル)は、このたび、小型電池事業の技術革新と成長を加速するため、日本最大の累計投資社数を誇るベンチャーキャピタル(VC)であるジャフコ グループ株式会社(以下、ジャフコ)が運用するジャフコ V8 投資事業有限責任組合へ総額 10 億円の出資を決定しました。

マクセルは、2026年3月1日付で株式会社村田製作所の一次電池事業を譲受するなど、小型電池領域において、規模と先進性の両面からグローバル No.1 をめざしています。そのためには、社内外の先端技術を活用し、先進性を継続的に追求していくことが不可欠です。

ジャフコは、1973年の設立以来、常に時代をリードする起業家とともに歩んできた VC であり、累計上場社数は 1,000 社以上にのぼります。スタートアップ企業への資金提供および経営支援のみならず、スタートアップ企業とファンド出資者との協業支援なども行っています。マクセルは、ジャフコが持つネットワークを活用し、幅広い先端技術や製品・サービスを持つスタートアップとの共創により、小型電池領域の革新的技術の獲得、新製品・新事業創出の加速、生産効率の向上(QCD*の最適化)を狙います。

*QCD: 製品を評価する際に使われる指標で、「品質(Quality)」「コスト(Cost)」「納期(Delivery)」の頭文字

■ 出資対象ファンドの概要

ファンド名	ジャフコ V8 投資事業有限責任組合(ベンチャー投資ファンド)
運用会社	ジャフコ グループ株式会社
マクセル出資額	総額 10 億円
運用期間	10 年間
投資対象企業	主に日本のスタートアップ企業

■ ジャフコ グループ株式会社について

会社名	ジャフコ グループ株式会社
代表者	取締役社長 三好 啓介
所在地	東京都港区虎ノ門 1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー24 階
主な事業	新事業の創造に挑戦するスタートアップ企業への「ベンチャー投資」と、再成長をめざす中小・中堅企業をメインターゲットとする「バイアウト投資」の、異なる 2 つの投資領域を両輪とした未上場企業投資を行う

■ お問い合わせ先

マクセル株式会社 コーポレート・コミュニケーション本部
お問い合わせフォーム: <https://maxell.tayori.com/f/tayori-02/>

以上

ニュースリリース、お知らせに記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL等)は、発表日時点のものです。
予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
